

民衆の声
ボイス

No.117

公明党 横浜市会ニュース

Voiceよこはま

<http://www.yhkomei.com/> E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10 TEL671-3023 FAX681-2060

信頼される横浜市政へ

— 市民の声を力に、安心と希望のある横浜へ —

前市長のパワーハラスメント問題を巡り、第三者調査チームから職員を萎縮させる複数の事案について厳しい指摘が示されました。8月13日、14日の市会総務委員会では市長本人への質疑が行われましたが、市政への信頼回復には至らないと判断。公明党横浜市会議員団は自民党、立憲民主党の3会派で、市長に辞職を求める申し入れを行いました。その後、市長は8月28日に辞職願を提出し、9月7日の本会議にて全会一致の同意を得て辞職しました。

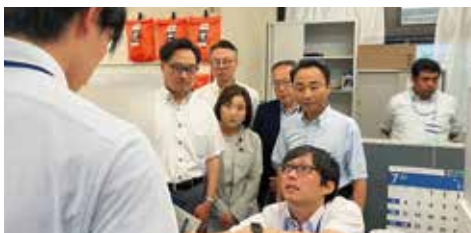
市長の辞職を一つの区切りとして終わらせるのではなく、同じことを二度と繰り返さない仕組みづくりが重要です。職員が安心して働き、市民の皆様から信頼される横浜市政を取り戻すため、相談・通報体制や研修、第三者性を確保した仕組みなど、実効性ある再発防止策の強化に取り組んでまいります。

ハラスメントのない横浜へ

市長の責任を問うだけでなく、議会運営でも再発防止に向けて改善策を打ち出しています。大阪市会や渋谷区の先進的な取組を調査し、外部専門家への相談体制、研修、ルールづくりなどを研究する中でハラスメントを許さず、誰もが安心して声を上げられる組織・議会を目指します。

「書かない・待たない・回らない」
区役所窓口へ

横浜市では、証明書のコンビニ交付やオンライン申請などの「行かない窓口」、事前WEB発券



▲鶴見区役所(先行モデル実施)を視察

などによる「待たない窓口」に加え、申請書への記入や複数の窓口を回る負担を減らす「書かない・回らない窓口」を進めています。7月28日に、公明党横浜市会議員団で、先行実施している鶴見区役所を視察しました。

証明発行窓口の統合・ワンストップ化などを検証し、令和10年度中の全区展開を目指して、便利な窓口サービスとなるよう取組を後押しします。

多彩な国籍・文化が
共生する横浜へ

外国人人口が増加する中、日本語教育や生活相談、多言語での情報発信、地域でのつながりづくりなど、多文化共生の取組はますます重要です。7月30日には、公明党五大市(横浜・名古屋・京都・大阪・神戸)の市議団による第34回政策研究会を開催し、各都市の取組や課題を共有しました。地域の日本語教育・相談体制への財政支援、市町村単位の実態把握、特定技能制度に関する自治体等の事務負担軽減など、国への働きかけも進め、国籍や文化の違いを超えて誰もが安心して暮らせる横浜を目指します。



▲日本語支援拠点施設「ひまわり」を視察

11月2日
防災庁
発足

災害から命と暮らしを守る!

事前防災から復旧・復興までを一元化

大規模地震や豪雨など、激甚化・頻発化する自然災害に備え、11月2日、国の防災・災害対応の司令塔となる「防災庁」が発足。平時の事前防災から発災時の対応、被災者支援、復旧・復興までを一貫して担い、各府省庁を横断して災害対応を進めます。

防災庁の主な役割



災害に強い横浜へー避難所・学校・地域の備えを前へ

命と暮らしを守るためには、避難所の環境改善、学校施設の防災力向上、そして各家庭での備えを重ねていくことが重要です。公明党横浜市議員団は、災害に強い横浜づくりを前へ進めています。

TKB「トイレ・キッチン・ベッド」ユニットを活用した実証訓練を視察 避難生活の改善と災害関連死ゼロへ

9月18日、横浜市が所有するキッチンカーやトイレトレーラー、簡易ベッド等を活用した実証訓練を視察。避難所・避難生活学会の水谷代表理事らと意見交換し、迅速な情報共有や避難環境の改善、専門家の育成など、「災害関連死ゼロ」をめざす都市防災のあり方を考えました。



災害時こそ重要! 避難所のトイレ環境充実へ

災害時、食料や水と同じくらい重要なのが「トイレ」です。横浜市では下水直結式トイレやトイレパックなどを備えています。大規模災害では下水管の損傷や使用済みトイレパックの処理など、新たな課題も想定されます。備蓄・組立型の紙製トイレユニットなど新たな選択肢も調査し、高齢者や障がいのある方、女性や子どもなどにも配慮した、誰もが安心して利用できる避難所環境の充実を進めます。

▶紙製トイレユニット



▶避難所トイレ等の視察



学校体育館へのエアコン設置をさらに加速!

現在、避難所の空調設置率は約30%で、令和11年度までに全ての学校体育館への整備設置完了を目指しています。市会質疑では整備のさらなる前倒し・加速化を要望。あわせて、中学校の武道場についても、空調整備を早期に進めるよう求めています。

浸水ハザードマップが更新!

内水・洪水ハザードマップが更新されています。自宅や職場、家族の避難経路にどのようなリスクがあるのか、改めて確認しておきましょう。R8年度に全戸配布予定。

申請は
こちら



設置支援もあり

今日からできる「わが家の防災」

—地震への備え、まずは家の中から—

公明党横浜市議員団は、これまで地震火災や家具転倒から命を守るため、**感震ブレーカー**や**家具転倒防止器具**への**支援拡充を継続して訴え**、制度の実現・拡充を後押ししてきました。

大規模地震では、自宅が安全であれば「在宅避難」も重要な選択肢です。使える支援を活用し、今こそわが家の備えを進めましょう。

◆感震ブレーカーで「通電火災」を防ぐ

大きな揺れを感知すると自動的に電気を遮断し、停電復旧時などの通電火災を防ぐ感震ブレーカー。

*重点対策地域：全額補助

*重点対策地域以外：一部補助

申請は
こちら



◆家具転倒防止器具の購入・取付けを支援

家具の転倒は、けがだけでなく避難経路をふさぐ原因にもなります。

*重点対策地域：全額補助

*重点対策地域以外：一部補助

申請は
こちら



対象器具(重点対策地域以外)※一例	申請者負担額
突っ張り棒	1,500～1,700 円
ふんばる君 90	1,200 円
スーパータックフィット マルチ	1,500 円

横浜市お役立ち情報

よこはま防災eパーク

いつでも・どこでも防災を学べる

よこはま防災eパーク

横浜市避難ナビ

いざという時近くの避難所をすぐ確認

横浜市避難ナビ

横浜市総合防災サイト

防災の情報をまとめてチェック

横浜市総合防災サイト



もしもの前に、知っておく。
もしもの時に、役立てる。

政務活動最前線

—現場から学び、横浜へ—

【富山県】若者・子育て世代に「選ばれるまち」づくりを視察



若者・子育て世代の移住促進に取り組む富山県を視察。20～40代が移住世帯の約7割を占める同県での、SNSやAIを活用した定住支援施策について学びました。また、米ニューヨーク・タイムズ紙の「2025年に行くべき52か所」に選ばれた富山市では、図書館とガラス美術館を一体整備。若者を呼び込み、文化と交流を育む魅力あるまちづくりを横浜にも生かしてまいります。

【高知県】先進的な図書館の取組を学ぶ

高知市の「オーテピア高知図書館」を訪問し、高齢者や障がいのある方も含め、誰もが利用しやすい図書館づくりの現場



を視察。バリアフリーやユニバーサルデザイン、点字図書館との連携、みらい科学館とのコラボなど、横浜市の新図書館整備に向けて参考となる取組を学びました。

防災・減災の政務調査 みなみ 最前線

本年は台風が頻発していることから、浸水、がけ崩れや倒木も発生しています。南区政務調査の一環として、**仁田まさとし市議**といより**敦政務調査員**が、災害現場の状況把握や地域住民の方から不安のお声を伺っています。既成の範疇を超えた災害への備えが必要であり、防災・減災対策の更なる進展に取組みま

がけ崩れ



浸水



倒木



データ活用で
交通対策

「人が数える」から ICTへ！ 道路交通調査が進化・設置現場を視察

これまで調査員が道路脇で交通量を計測していた道路交通調査を、カメラを活用して効率化する取組がスタート。公明党横浜市議員団は、設置現場を視察し、ICTを活用して道路状況を継続的に把握する仕組みを確認しました。

市内 100 台の設置を目指し、これまでに 40 台を設置。今年度も 40 台を設置予定です。得られたデータを今後の道路整備や渋滞対策など、より効果的な交通政策につなげてまいります。



照明器具に
カメラを内蔵

市政
報告

動画でご覧ください！



YouTube
配信中！

